

【見学を実施する鬼首地熱発電所】

発電所全景



鳴子こけしをあしらったタービン・発電機



Jパワー鬼首地熱発電所は、1975年に9,000kWの出力で発電を開始し、今年で運転開始50周年を迎えました。旧鬼首地熱発電所は2017年に運転を停止し、既設設備の撤去を開始し、2019年からリプレース工事を進め、2023年4月に出力14,900kWの新しい鬼首地熱発電所として、生まれ変わりました。

地熱発電は、再生可能エネルギーの特徴であるCO₂をほとんど排出しないことに加え、天候に左右されず年間を通じて安定した電気を供給することが可能です。また、地下にある膨大な熱エネルギーを持続可能な範囲で利用して、輸入に頼らず電気をつくることができます。世界第3位の地熱資源を誇る我が国では、貴重な純国産のエネルギーです。

今回、設備をリプレースするにあたり、さらに地域の発電所として親しまれることを目的に、地域の伝統工芸品である「鳴子こけし」をタービン・発電機にデザインしました。